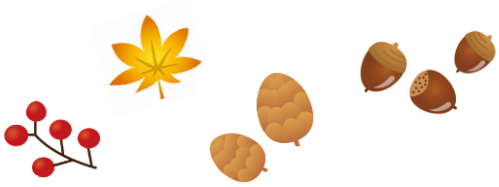
# 幼　稚　園　だ　よ　り

１０月号

令和８年　１０月　１日

荒川区立花の木幼稚園

園　長　　竹下　佳余



## 「みーつけた」

主任教諭　小川　麻友美

先日のふれあい会では、お集まりいただいた祖父母の方と一緒に『とんぼのめがね』を歌いました。本園の園庭にもトンボが飛んできます。９月初めは、シオカラトンボが飛んでいましたが、少しずつアキアカネが飛び始めました。赤色トンボのアキアカネを見つけると、「秋が来たな」と感じます。調べてみると、アキアカネは夏の暑さが苦手なため、羽化すると涼しい山などに避暑し、秋に平地に戻ってくるそうです。

東京都では、令和６年度から「伸びる・育つ（すくすく）と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援するために、「とうきょうすくわくプログラム」という事業を展開しています。今年度、この事業に本園も参加しております。

先日の園内研究では、年長児が「葉っぱと仲良くなろう！」と葉に目をつけて顔を描いて楽しみました。色々な形の葉っぱと向き合い、個性豊かな作品が出来上がりました。そして、その葉っぱを通して、友達と「あなた、おしゃれな葉っぱね」「私はクルクルちゃんって言うのよ。」と会話も弾んでいました。

園庭でダンゴムシ・蝶・トンボなどを探したり、育てている栽培物の変化に気付いたり、たくさんの「みーつけた」という姿が見られます。「自然」を活動の中心テーマに、園児たちの主体的・協働的な探究活動を支えていきたいと思っています。本園の担任は、子供たちの「みーつけた」のキラキラとしたまなざしが大好きです。子供たちが降園した後、「今日、このような姿がありました」「〇〇ちゃんが見つけたんですよ」と担任たちの会話も弾んでおります。たくさんの「わくわく」した体験に繋がるよう進めていきます。

## １０月の保育のねらい



《３歳児 ひよこ組 》
・簡単なルールに気付いたり、自分でできることを進んでしようとしたりする。
・自分の思いを伝えながら、保育者や友達との関わりを楽しむ。

《４歳児 こあら組 》
・友達と思いや考えを出し合いながら、一緒に遊びを進めることを楽しむ。
・友達と一緒に、思い切り体を動かして遊ぶことの楽しさを味わう。
・秋の自然に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ。

《５歳児 いるか組 》
・秋の自然に自分から進んで関わり、好奇心や探究心を深める。
・友達と思いを伝え合いながら、自分たちで遊びや活動を進めていくことを楽しむ。